



# くみあいだより

2018.1 Vol.87

## 新春特集号

### CONTENTS

- 合併20年（平成30年）を迎えて JAたきかわ代表理事組合長 工藤正光… 2  
平成30年の年頭にあたり 北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章… 3  
新年のご挨拶 JAたきかわ青年部 部長 岡 隆之… 4  
新年のご挨拶 JAたきかわ女性部 部長 向井紀子… 4  
新穀感謝祭／滝川・赤平・芦別市へ表敬訪問…………… 5  
女性部芦別支部タオル寄贈／第3回空知地区ゆめびりかコンテスト…………… 5  
29年産最終米集荷報告…………… 6  
施防協試験について／資材部よりお知らせ…………… 7  
JAたきかわ青年部創立20周年記念式典…………… 7  
年末年始営業時間のお知らせ／理事会だより…………… 8

発行／編集：たきかわ農業協同組合 営農推進室  
滝川市本町4丁目1番31号 ☎代表(0125)22-3401



## 合併20年(平成30年)を迎えて

たきかわ農業協同組合

代表理事組合長 工藤 正光

思いがけない積雪で平成29年  
が終了し、多くの課題と収穫の喜  
びを残して頂きました。

春の融雪も早く期待の始まりに、  
過去に覚えがない強風が発生し4  
月、10月の被害が発生しました。  
春のハウス被害復旧には他のJA  
の応援、職員のお手伝いを含めて  
無事に乗り切ることが出来ました  
ことに感謝いたします。

米の作況は当管内「103」全  
国「100」となり7年続けて豊  
作を迎えることが出来ました。更  
には低タンパク米の実績や良品質  
米の結果は、施設調整も迅速に進  
み早期の精算が出来ました。うる  
ち米、もち米、加工米、種子を含  
めて24万5千俵の集荷となり、  
生産者に感謝を申し上げます。畑  
作物小麦は登熟期の影響を含めて  
細麦の傾向と小麦なまぐさ黒穂病  
の発生が確認され連作、防除体系  
に課題を残し対策が必要でありま  
す。他の作物や花卉にあっても出  
荷時期が重なったことから価格の  
単価が計画を下回る等、熟慮され  
る事でありませぬ。

昨年(平成29年)はJAたき  
かわ第6次3か年計画の最終年で  
あり、今年(平成30年)は合併  
20年の節目でもありこれまでの  
実績を踏まえながら新たに第7次  
3か年計画を策定して参ります。  
生産者の意見を頂きながら行政、  
各関係機関のご指導を尊びながら  
進める所存であります。

農協事業の推移ですが、本体は  
水稻の作況に助けられ概ね計画が  
達成出来ると見込んでおります。  
また子会社JAたきかわサービ  
スの運営ですが、昨年1月末にAコー  
プ東滝川店を閉店しましたが、5  
月25日にセコマ店舗として地域  
の利用者に期待される事となりま  
した。また子会社の経営状況につ  
いて厳しきは同じであります。更  
なる努力と組合員のご利用を願  
う処であります。

国内外の情勢であります。ア  
メリカ大統領の交代によって「T  
PP」交渉からアメリカが離脱し、  
残された11か国での「TPP  
11」の発行を目指し交渉が進ん  
でおります。加えて突然に大枠合

意された、日欧EPA交渉の結果  
を踏まえた内容の新たな予算化の  
中では確定された部分が見えてき  
ません。

当然ながら国内、北海道農業の  
影響が回避されるものではありません。  
更にはアメリカとのFTA  
交渉はTPP以上の譲歩が求めら  
れる可能性があり、数値的な試算  
を踏まえた政府国会での審議が必  
要であると考えられますので、現  
場の意見を、行政を含めて発信を  
しなければなりません。特に今年  
(平成30年)からは米の需給調整  
から国は指導せず、主産地の自主  
計画が求められております。それ  
らの事をしっかりと中央要請をし、  
政策・対策をもって経営の安定化  
を目指すべきと考えております。

新たな3か年計画は地域農業振  
興と持続的農業の継承であります。  
担い手や高齢化の渦の中にあつて、  
将来の目標となるべき方針を樹立  
しなければなりません。

これからの目標、米・野菜にあつ  
ても1俵、1ケースの単価ではな  
く、10a当たりの単価を設定し、  
その中で所得をどの様に確保し、  
生活を豊かにするべきだと思いま  
す。コストの低減、費用の削減等  
JAに求められる情報を提言し、  
負託に耐えられる農協にしなけれ  
ばと考えて参りますので今まで以  
上のご理解とご利用を併せて、迎

年が稔り多く組合員ご家族のご健  
勝を心から願ひましてご挨拶申し  
上げます。

### たきかわ農業協同組合

代表理事組合長	工藤 正光
専務理事	山岸 正稔
常務理事	瓜 善伸
常務理事	白木 正博
理事	福田 慎一
理事	伊藤 公一
理事	池田 裕治
理事	岡本 隆守
理事	吉野 猛光
理事	六田 孝男
理事	滝田 孝造
理事	櫻田 浩生
理事	石川 雅彦
代表理事	吉村 正典
常勤監事	松本 勝志
監事	村岡 洋昭
	他職員一同

### (株)JAたきかわサービス

取締役会長	工藤 正光
代表取締役社長	山岸 正稔
常務取締役	小山 春美
常務取締役	中村 和英
	他社員一同



## 平成30年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稻の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平

年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではありますが、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った『それでも種をまく。』という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んでいます。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されることです。

農協改革、規制改革では、生産

資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであります。本年はその総括年度となります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポーターづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しま

した。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

結びになりますが、今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）です。一説には、戊は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことでもあります。

今年は、この戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

JAたきかわ青年部

部長 岡 隆之

新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様、青年部盟友の皆様  
におかれましては新しい年をお  
迎えることお慶び申し上げます。

組合員並びに関係機関の皆様方  
におかれましては日頃より我々青  
年部の活動に對しましてご理解ご  
協力のほど誠にありがとうございます  
ます。

昨年は降雪が少なく早めの春を  
感じられましたが4月半ばには台  
風並みの暴風に被害が多くでし  
まい、夏場には低温、日照不足に  
より生育が遅れました。

その後は天候も回復傾向となり、  
無事に収穫することが出来、水稲  
は作況指数103の「やや良」と  
なり、良い出来秋を迎えることと  
なりました。

畑作物につきましては秋小麦で  
は一昨年から発生が多くみられて  
いる「なまぐさ黒穂病」が多発し、  
当地区でも昨年対策を実施してい  
ても発生してしまつたと聞き及ん  
でおります。心よりお見舞い申し  
上げます。

また近年に事関しましては天候

や病害虫等にますます左右される  
農業ではありますし、国内や世界  
情勢に関しても環太平洋連携協定  
(TPP)、日EUによる経済連携  
協定(EPA)、日米二ヶ国間自由  
貿易(FTA)などの情報に敏感  
にならざるを得ません。

さて昨年、我々JAたきかわ青  
年部 創立二十周年記念式典を  
十一月に開催させていただきました  
た。

お忙しい時期にも関わらず沢山  
のご参加をいただくことが出来ま  
した。

誠にありがとうございます。

盟友数五十名程度となり全盛期  
よりも減少はしましたが現在在籍  
している盟友で諸先輩たちが築き  
上げていただいた青年部を盛り上  
げ、さらには今後の農業に対し、  
微力ながらも協力していきたい  
と思います。

最後になりましたが組合員・J  
A職員・関係機関の皆様のご健勝  
とご活躍、またご家族様のご健康  
並びにご多幸を心よりご祈念申し  
上げまして、新年のあいさつに代  
えさせていただきますと思います。



## 新年のご挨拶

JAたきかわ女性部

部長 向井 紀子

新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員の皆様、並びに部員の皆  
様におかれましては、ご健勝で  
2018年を迎えられましたこと  
と心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月の  
播種時期には、思いもよらぬ大風  
でハウスの倒壊等の被害があり、  
自然災害の怖さを目の当たりにし  
ての不安なスタートになり、田植  
後も天候不順が続き、心配な日々  
でありましたが、その後回復し、  
畑作物や米など平年作以上になり  
品質も例年にないほどの高品質と  
なりました。

今年から農業政策では直接支払  
い交付金が18年度から廃止され、  
コメの消費は引き続き減少すると  
いわれておりますことから、米を  
中心とした経営は今後難しくなり、  
後継者の育成は今以上に難しくな  
りそうです、これからは個々の経  
営努力がより以上求められること  
になりそうです。

家族の命を預かる私達の立場と  
しては一番の心配は食の安心安全  
です、今TPP11や日欧FTA

などが進められていますが、限り  
ない自由貿易を進めることは、日  
本の農業や農産物を圧迫し、国民  
や家族の安心安全な食生活を守れ  
るのだろうか心配でなりません。

私たち女性部の活動も、農業の  
変化と同じく、一年一年大変難し  
い時であります、今年も農業者  
として日本の安心安全な食べ物を  
作って、家族の健康や命を守って  
ゆかなければと思います。

女性部の活動にご理解、ご協力  
をいただいております、JAはじめ  
関係機関各位の皆様には、今年も  
ご指導ご鞭撻をいただきますよう、  
よろしくお願い申し上げます。





## 新穀感謝祭

十一月二十三日（木）滝川神社にて、五穀豊穰を神様に報告する「新穀感謝祭」が執り行われました。

新穀感謝祭ではJAをはじめ関係者各位が出席し、神宮より修抜、祝詞奏上、祭詞奏上を順に執り行われ、工藤組合長より祭文にて本年の各農作物の収穫が終了したことを報告致しました。

玉串奉奠では関係者各位より順に行い感謝の意を神様に報告することができました。



新穀感謝祭風景



玉串奉奠の様子

## 滝川・赤平・芦別三市へ表敬訪問

十一月十日（金）とんぼの会が滝川市役所、十一月十七日（金）ベストライス赤平が赤平市役所に表敬訪問しました。

滝川市にはななつぼし60kg、赤平市にはゆ

めびりか1,000kgの新米を寄贈しました。

また、ゆめびりか生産部会につきましても、滝川市、赤平市、芦別市に表敬訪問し、新米ゆめびりかを寄贈しました。寄贈した米については、学校給食、保育所、病院などで使われます。



赤平市役所



滝川市役所

## 女性部芦別支部タオル寄贈

女性部芦別支部では、社会貢献の一環として芦別市立病院へタオルを寄贈しています。

女性部芦別支部 石黒里美支部長、石黒登貴子副支部長で市立病院へ赴き、今年は七〇本のタオルを寄贈しました。



タオルを寄贈する様子

## 第三回空知地区ゆめびりかコンテスト

十一月七日（火）岩見沢の空知農業会館にて「第三回空知地区ゆめびりかコンテスト」が開催されました。コンテストは「産地PR」、「審査員による食味官能試験」によって審査されます。当JAは芦別産のゆめびりかを出品し、準グランプリとなりました。空知管内は良食味米産地ですので、その中での準グランプリという事で非常に良い結果となりました。



コンテスト会場内の様子



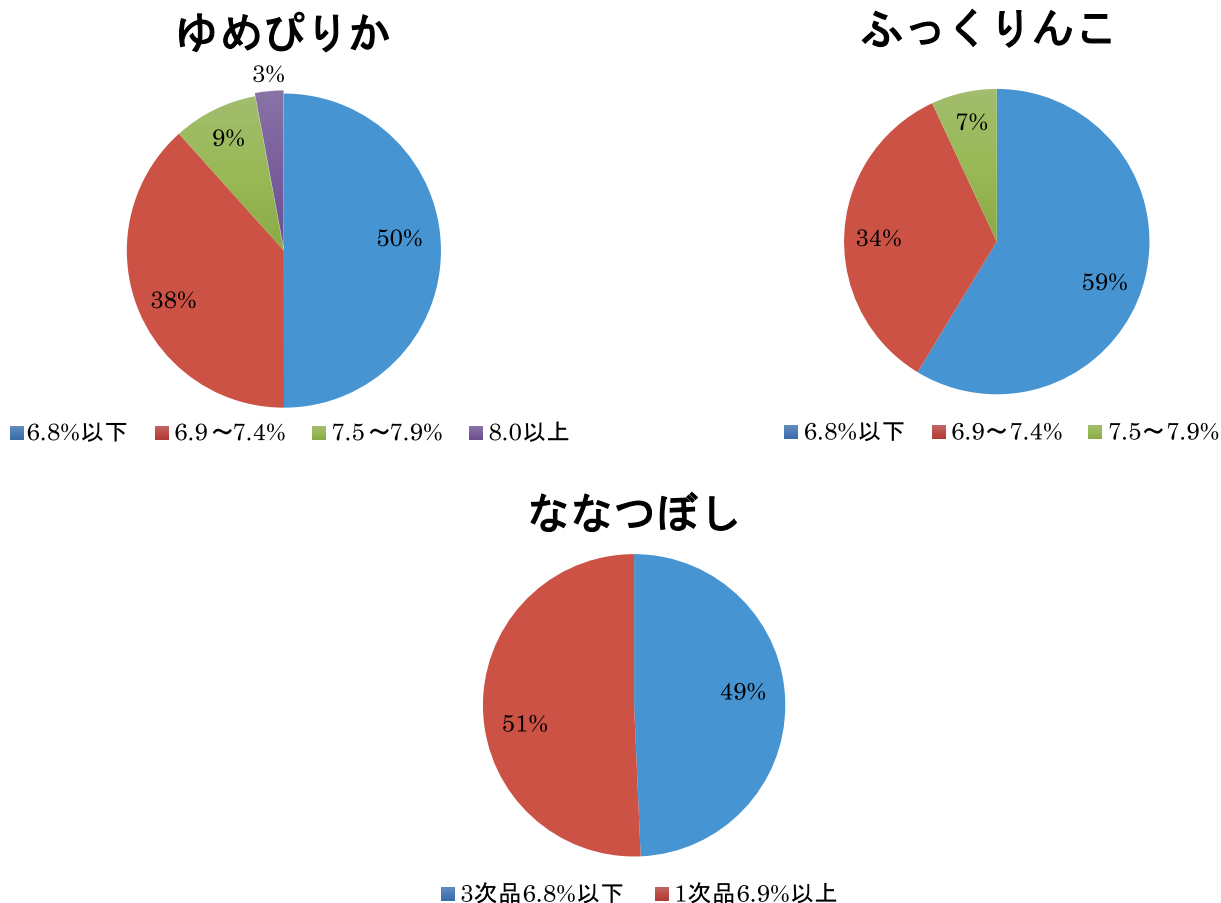
ゆめびりか生産部会 会長 吉村正之氏

# 29年産最終米集荷報告

単位: 俵

	パラ施設		北の米蔵		所前		合計			
	3次品	1次品以上	3次品	1次品以上	3次品	1次品以上	3次品	1次品以上	合計	
うるち米	ななつぼし	37,902.9	46,140.6	6,953.3	3,525.7	6,672.5	3,308.0	51,528.7	52,974.3	104,503.0
	きらら397		2,190.5		1,591.5		204.0	0.0	3,986.0	3,986.0
	ほしのゆめ					510.0		510.0		510.0
	おぼろづき		535.5		637.5		30.0	0.0	1,203.0	1,203.0
	ゆきひかり		167.0		557.0			0.0	724.0	724.0
	ゆめぴりか	25,161.6	25,409.4	7,297.0	9,001.5	4,136.5	2,198.5	36,595.1	36,609.4	73,204.5
	ふっくりんこ	6,288.9	4,429.6					6,288.9	4,429.6	10,718.5
	きたくりん	1,832.7	1,036.8	794.0	159.0			2,626.7	1,195.8	3,822.5
	その他		1,083.5		17.5		103.0		1,204.0	1,204.0
	<b>小計</b>	<b>71,186.1</b>	<b>80,992.9</b>	<b>15,044.3</b>	<b>15,489.7</b>	<b>11,319.0</b>	<b>5,843.5</b>	<b>97,549.4</b>	<b>102,326.1</b>	<b>199,875.5</b>
加工・備蓄		1,597.0				519.5		2,116.5	2,116.5	
<b>うるち計</b>	<b>71,186.1</b>	<b>82,589.9</b>	<b>15,044.3</b>	<b>15,489.7</b>	<b>11,319.0</b>	<b>6,363.0</b>	<b>97,549.4</b>	<b>104,442.6</b>	<b>201,992.0</b>	
もち米	はくちょう		3,924.5				3,838.5		7,763.0	7,763.0
	風の子		3,900.0				738.5		4,638.5	4,638.5
	きたゆき		746.5				359.5		1,106.0	1,106.0
	きたふく		469.0						469.0	469.0
	<b>もち計</b>		<b>9,040.0</b>				<b>4,936.5</b>		<b>13,976.5</b>	<b>13,976.5</b>
								<b>集荷全合計</b>	<b>215,968.5</b>	

※3次品はタンパク6.8%以下、1次品以上はタンパク6.9%以上となっています。



## 施肥協試験について

資材部では、ホクレン・メーカー・普及センター等と連携し、「施肥防除合理化推進協議会（施肥協）」を組織し、「省力化が図れる肥料・新農薬」、などの現地試験を行ってまいります。本年は秋まき小麦の起生期以降の追肥を省略できる「基肥一発肥料」の効果確認試験を実施しており、十一月に関係機関とともに越冬前の生育調査を行いました。来年以降も調査を行い、試験結果を皆様に報告いたします。



関係機関に生育状況を説明する鷲尾職員

## 資材部よりお知らせ

十一月二十七日（月）～十二月八日（金）にわたり各地区にて水稻農薬推進を行いました。取り纏め申込書の提出期日は平成三十年二月二日（金）となっておりますので、期日までに提出して頂きますようお願い致します。なお、奨励制度について二月二日（金）までに申し込み頂いた方につきましては、特別価格対応となりますので期日に気を付けて頂きますようお願い致します。

また、一月三十一日（水）は決算棚卸のため休業させていただきます。

## JAたきかわ青年部 創立20周年記念式典

十一月二十五日（土）ホテルスエヒロにおいて、JAたきかわ青年部20周年記念式典が執り行われました。

式典では、歴代部長、功労者、歴代事務局表彰が行われ、歴代部長表彰では十一代目（平成十九年度）～二十代目（平成二十八年度）までの部長を表彰し、功労者表彰では、空知青年部連合会の会長理事を務めた方々を表彰、歴代事務局表彰では、平成十九年度～平成二十八年度までの間で事務局担当した方々を表彰しました。

来賓祝辞では、工藤組合長、滝川市市長、赤平市市長、芦別市市長より祝辞を頂きました。



歴代部長表彰の様子



功労者表彰の様子



歴代事務局表彰の様子



祝辞を述べる工藤組合長

その後来賓紹介、祝電披露が行われ祝宴に入りました。

祝宴では、平成十九年度～平成二十八年度の青年部活動の様子を写真のスライドショーで上映されました。また、余興でビンゴゲームを行い会場内の皆で盛り上がりました。万歳三唱で祝宴を締め括り記念式典は閉会となりました。



# 年末年始営業案内

		JAたきかわ								
		本店・各支店広域 営農センター 総務・営農 販売・資材	金融・共済窓口	JAバンク					菜の花館	
日付	曜日			ATM稼働時間						
				本店	滝の川	江部乙	赤平	芦別		
12月30日	土	9:00~12:00	休業	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	休業
12月31日	日	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
1月1日	月	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
1月2日	火	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
1月3日	水	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
1月4日	木	休業	平常営業	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	休業
1月5日	金	休業	平常営業	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	休業
1月6日	土	9:00~12:00	休業	休止	休止	休止	休止	休止	休止	平常営業
1月7日	日	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常営業
1月8日	月	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常営業

		(株)JAたきかわサービス							
		総務企画課	Aコープ			ハマナス クラブ えべおつ店	給油所		農機自動車 センター
日付	曜日		たきかわ店	あかびら店	移動販売車		東町セルフ除く	東町セルフ	
12月30日	土	平常営業	9:00~19:15	9:00~19:00	休業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業
12月31日	日	休業	9:00~16:00	9:00~16:00	休業	6:00~18:00	8:00~16:00	7:00~18:00	休業
1月1日	月	休業	休業	休業	休業	8:00~18:00	休業	休業	休業
1月2日	火	休業	休業	休業	休業	8:00~20:00	休業	8:00~18:00	休業
1月3日	水	休業	休業	休業	休業	8:00~20:00	休業	8:00~18:00	休業
1月4日	木	休業	平常営業	平常営業	休業	平常営業	平常営業	平常営業	休業
1月5日	金	休業	平常営業	平常営業	休業	平常営業	平常営業	平常営業	休業
1月6日	土	平常営業	平常営業	平常営業	休業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業

※ 移動販売車は29年12月28日(木)~30年1月7日(日)休業させていただきます。

**組合員のかず**  
 正組合員 977名  
 准組合員 4,059名  
 総計 5,036名  
 (11月末日現在)



- 協議事項
- 一、平成30年度営農計画及びびくミカンの取扱いについて
  - 二、地区懇談会の開催について
- 決議事項
- 一、第3四半期末実績並びに決算見込みについて
  - 二、平成29年度の不動産(農地)評価基準について
  - 三、出資の減口について
  - 四、資金の貸付について

**第十三回理事会**  
 平成二十九年十一月二十七日(月)

**理事会だより**